

職場の安全風土評価法

安全風土

「職場や作業を規定する様々な要因に対する職場の人の認識の内容や程度、価値観や態度」のことです。

なお、ここでの「要因」とは、「職場や作業条件を規定する要因の物理的な条件」だけではなく、「管理者への信頼感や、職場の雰囲気、同僚への安心感・信頼感といった社会心理学的な要因」をも含みます。



【概要】

安全風土は人の認識の内容や程度ですので、その把握方法は質問紙調査法が適しています。そこで、過去に調査研究で用いた評価項目の内容を分析し、現時点でどのような評価項目が重要視されるかを調査した上で、「職場の安全風土評価法」を作成しました。

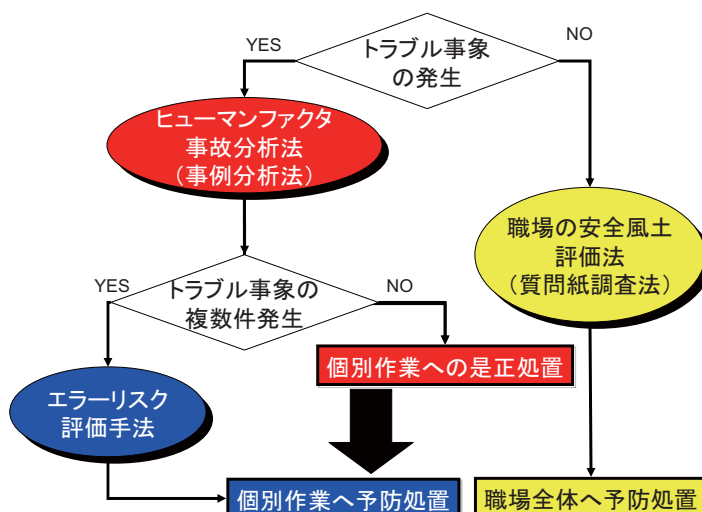
【特徴】

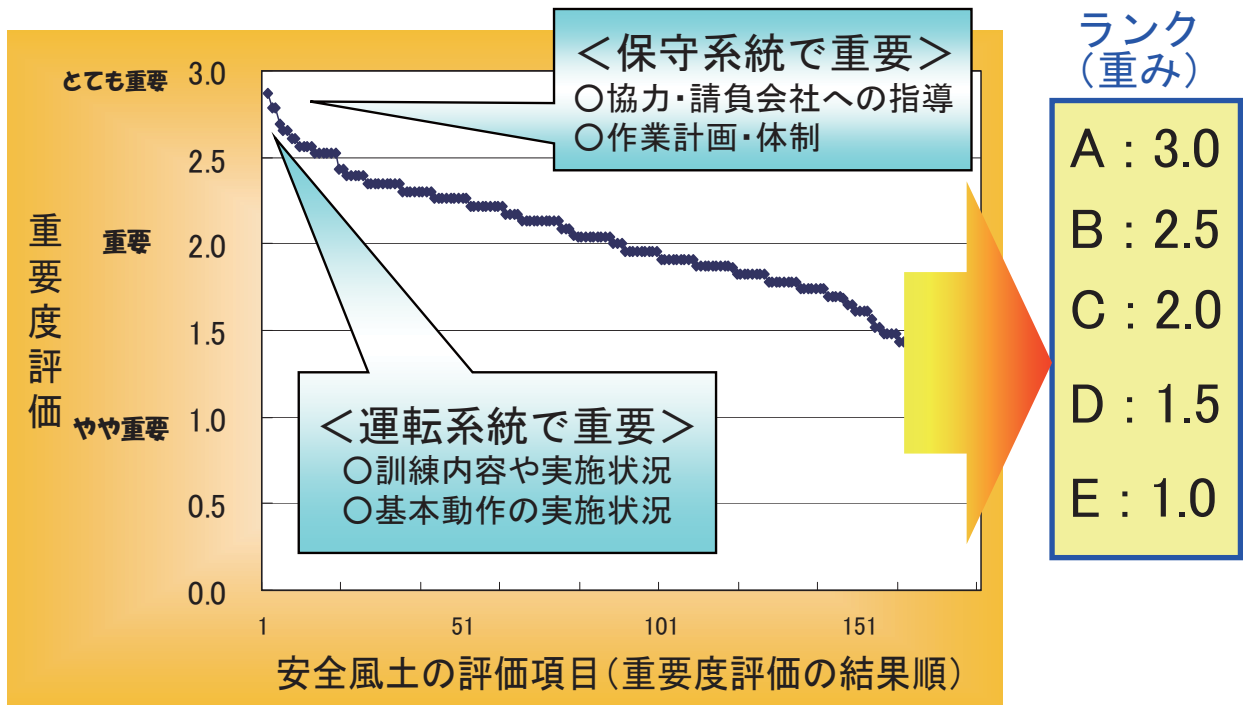
- ・ 200項目の評価項目の内容を分類
- ・ 運転／保守系統別の内容の重要性ランクを設定
(評価の際の重み付けが可能になります)。
- ・ 用語の定義や評価の必要性
実施法、結果の算出
活用方法などをまとめた
解説書を作成しています。



【用途】

- ・ 安全へ向けた職場づくりのための改善ポイントを把握することができます。
- ・ トラブルが顕在化していないうちに、未然防止に取り組むことができます。





内容の重要性ランクを調査

分類	評価要因	A	B	C
安全管理要因	作業特性	0	0	2
	物理的条件	0	1	6
	作業負担	0	2	1
	組織条件	0	0	0
	教育・訓練	0	8	9
	マニュアル・手順書	1	10	6
	作業計画・指示	3	4	6
	機器や環境の管理	0	5	0
	安全活動	1	2	2
	事故分析・情報活用	1	7	5
	評価	0	2	2
	関係箇所との連携	4	5	1
社会的要因心理学	リーダーシップ(課題遂行)	2	10	3
	リーダーシップ(機能維持)	0	5	0
	職場同僚への信頼感	0	3	6
	職場のコミュニケーション	0	7	2
	職場の雰囲気	1	3	0
メンバークの姿勢	安全行動	3	10	6
	安全思考	0	1	4
	原因帰属	0	1	0
	能力・態度	0	1	2
	モチベーション	0	0	2
計		16	87	58

200評価項目に対し、
運転・保守系統別に
内容の重要性ランクを設定
(評価の重み付け)

特許出願中